

つくり方を知って、びっくりしたこと
絵や文でかいてみよう！

を染めるテクニックです。

友禅染は、筆で色をつけ、絵を描くようにもようを染めるテクニックです。

Q&A

うるしをつくる人にきいてみた！

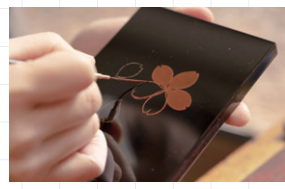
答える人：うるし作家の茂田典子さん

Q1 つくるときに気をつけていることは？

いろいろな角度からよく見ることです。そうすると、新しいアイデアや作品の魅力を発見できたり、失敗を防げたりします。

Q2 つづいて楽しいところは？

工程がたくさんあり、同じ作業の繰り返しも多く、時間がかかります。でも、完成まで時間をかけた分、作品が育ってよくなっていくように感じ、うれしく、楽しいです。



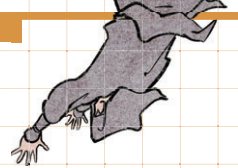
Q3 博物館で昔のうるしの作品を見ると、どんなところに注目しますか？

いろいろあります。たとえば箱の内側などふだん見えないところまで丁寧にかがっていたり、筆で細かく絵を描いていたたりするのを見ると、昔の職人のわざやこだわりに驚きます。



※茂田さんがうるしの作品をつくっている様子の一部が見られるよ

手間ひまかけてつくられたうるしのうつわ、大切に使いたいね



だれかに教えてあげたくなかったこと
絵や文でかいてみよう！

が特徴です。

友禅染は、筆で色をつけ、絵を描くようにもようを染めるテクニックです。

友禅染は、筆で色をつけ、絵を描くようにもようを染めるテクニックです。友禅染は、筆で色をつけ、絵を描くようにもようを染めるテクニックです。

ほかにもできること、いろいろ



「日本文化のひろば」に行ってみよう。

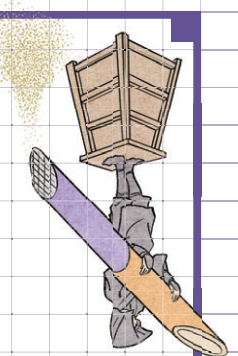
きもののぬりえをもらったり、うるしの箱をタブレットでデザインしたり、いろいろな体験ができるよ。(本館1階特別4室)

国宝のうるしの箱をペーパークラフトでつくってみよう。

江戸時代の作家、尾形光琳さんのデザインした国宝「八橋時絵螺鈿硯箱」をペーパークラフトでつくることができるよ。



動画やぬりえなどをおうちで楽しめるウェブページです。「日本文化のひろば」でデザインしたペーパークラフトのつくり方動画も見るができます。



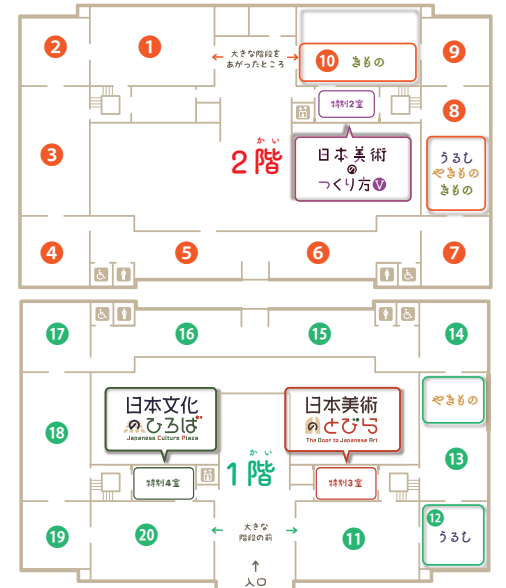
つくり方を知って、びっくりしたこと
絵や文でかいてみよう！

うつわをかざることもできます。

友禅染は、筆で色をつけ、絵を描くようにもようを染めるテクニックです。友禅染は、筆で色をつけ、絵を描くようにもようを染めるテクニックです。

ほんものを見に行こう！

●は展示室の番号です。

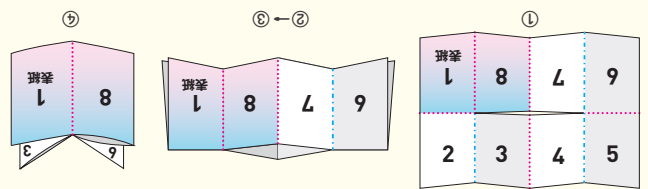


つくり方がわかったら、日本美術の作品をもっと見てみよう。細かいわざのすごさに、今までよりももっとびっくりしちゃうかも！

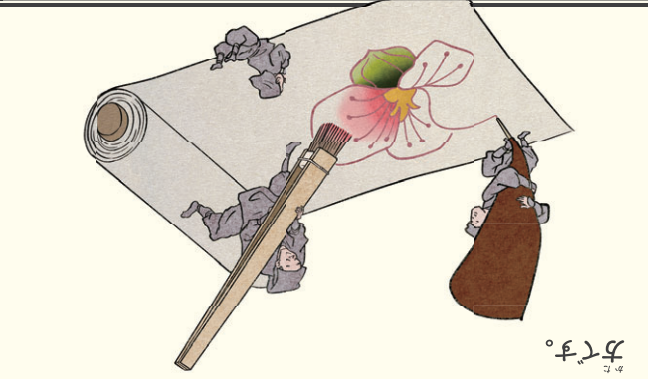
うるし 本館 1階 12室 「漆工」
2階 8-1室 「暮らしの調度—安土桃山・江戸」
やきもの 本館 1階 13-3室 「陶磁」
2階 8-1室 「暮らしの調度—安土桃山・江戸」
きもの 本館 2階 8-1室 「暮らしの調度—安土桃山・江戸」
10室 「浮世絵と衣装—江戸」

TNM 東京国立博物館
TOKYO NATIONAL MUSEUM

イラスト：萩原慶 デザイン：大同興典事務所＋平松るい



「つくり方しらべノート」のつくり方



「日本の美術」ときいて、みなさんは何を思い浮かべますか？
おかしな絵や、壺、仏像などでしょうか。そうした日本の美術作品は、どのようにつづられているのか。「うるし」「やきもの」の3つについて、そのつくり方をご紹介します。つくり方をすれば、見るのことも楽しくなる。日本美術の、あたらしい楽しみ方です。

親子のギャラリー Family Gallery

日本美術のつくり方V

Introducing Traditional Techniques of Japanese Art V

2022年7月20日(水)―8月28日(日)
東京国立博物館 本館2階特別2室

【つくり方しらべノート】

「親子のギャラリー 日本美術のつくり方V」の楽しみ方

- 1 つくり方しらべノートをつくる
- 2 しらべノートを持って、展示をじっくり見る
- 3 よく見て、発見したことを書き込む
- 4 気がついたことをおうちの人や友だちに教えてあげよう

なまえ